



2020年2月22日（土）臨時活動報告

20200224
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2020年2月22日（土） 9：45～ 雨が降り出した為11：00に下山。

■参加者：チーム神於山 7名

■活動内容

- ・今回は、前日（21日）午前11時気象庁発表の天気予報で、大阪府の当日（22日）6時から12時の降水確率が50%だったので、本来の活動は中止でしたが、フクロウの営巣とトレイルカメラのデータ確認に絞って入山しませんかという金井さんご夫婦の呼びかけに応じて集まった7人で臨時活動を行いました。
- ・結果、上下2ヶ所に架けている巣箱の両方に、中に敷いた藁の形の変化が見られるので、フクロウが二つの巣箱に出入りしていることは間違いなさそうです。
- ・間伐材を運び出す為に必要な「作業道の補修」については、山側は木の板と木の杭で、谷側は畔波板と異形鉄筋で土止めする計画ですが、先ず次回の活動日に、試しに谷側に畔波板を取り付け、効果があるかどうか確認することにしました。

■フクロウの営巣確認



トレイルカメラのデータ確認中。

- ・トレイルカメラのデータについては、23日に金井さんからメールで「トレイルカメラには600件ほどのファイルがあり、全て確認するには時間がかかる。」との連絡が有りましたのでその結果を待ちたいと思いますが、そのメールに添付された巣箱の中の藁の変化を見る限り、フクロウは出入りしているように思われます。

（巣箱の中の藁の変化）末尾添付

※左が下のヒノキの疎林に付けた巣箱。右が毎年営巣している上のクリの木広場に架けた巣箱。

※日付は上から順に1月11日、1月25日、2月8日、2月22日



■間伐後の状況

◎ 間伐した木の処理 焚き付けに絶好の細い枝と、炭焼用の幹の細い部分を分けて積んでいます。

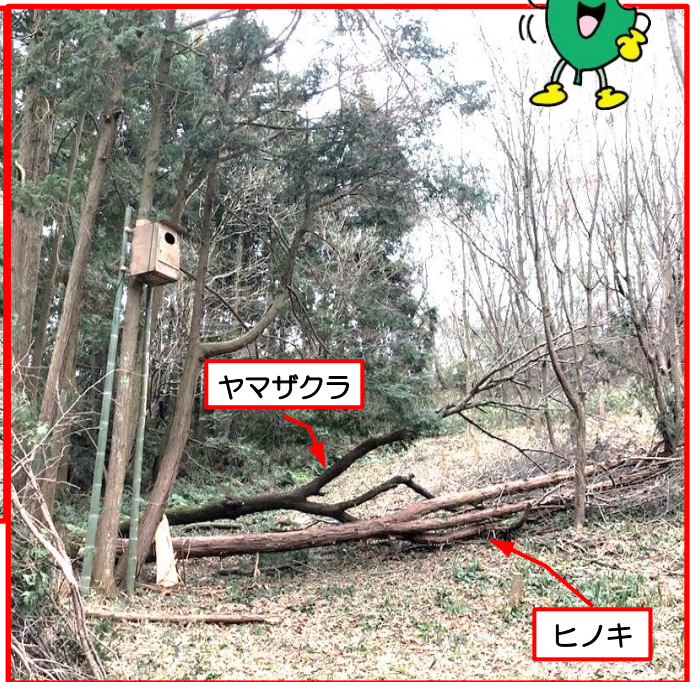
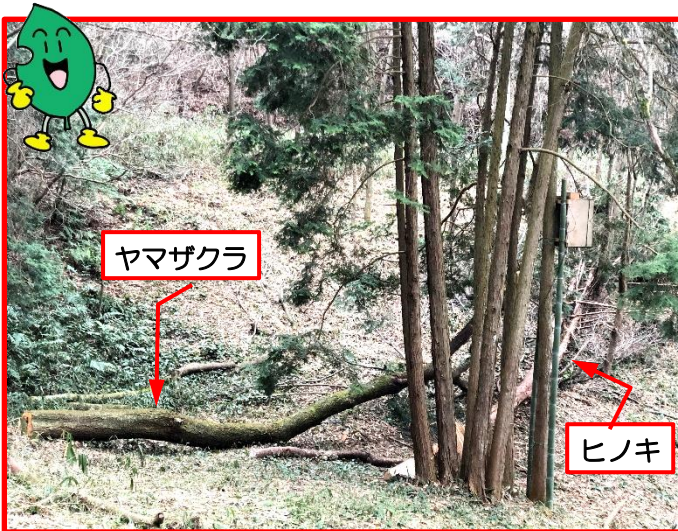


焚き付け用の細い枝



炭焼材料の幹の細い部分

◎ 22日に除伐した、枝掛りしたヤマザクラとヒノキ



• 右のフクロウの巣箱は、地上から約5mの高さに設置していますから、ヤマザクラもヒノキも相当太く大きいことが判ります。



- 伐り倒すまでは、枝分かれしているのはヤマザクラだけと思っていましたが、倒した結果、ヒノキも三つに枝分かれしていてそれぞれが複雑に絡まっていたことが判りました。
- 始めはヤマザクラを伐れば、その重さでヒノキの枝が折れて落ちると思っていましたが、結局ヒノキも伐ることになり、大変残念でした。

■ 臨時活動を記念して。 (真砂 写)



伐り倒したヒノキに腰を掛けて一枚。



金井さん(後列中央)の奥さんを交えて一枚

• ヒノキは勿体ないので何とか活用したいと思いますが、ヤマザクラも、楽器や仏壇の材料として役立てられるほど加工性が良く、磨くと光沢が出るので、何とか生かしたいと思っています。

• 前に積んであるのは、間伐材の太い幹の分節で、シイタケやナメコの樽木にする為、基地まで運びました。

以上

No.01(下側)



No.02(上側)

